

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能						3.8
Q-1 室内環境			0.40			3.6
1 音環境		4.6	0.15	-	-	4.6
1.1 騒音		5.0	0.40	-	-	
1.1.1 暗騒音レベル	構造と縁を切った入子構造の教室(二重サッシ, 遮音壁+乾式壁,	5.0	1.00	-	-	
1.1.2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		5.0	0.40	-	-	
1.2.1 開口部遮音性能	二重サッシ	5.0	0.40	-	-	
1.2.2 界壁遮音性能	音楽系教室の界壁D-60以上	5.0	0.30	-	-	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	RCスラブ厚さ180+浮き床構造	5.0	0.15	-	-	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)	RCスラブ厚さ180+浮き床構造	5.0	0.15	-	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
2.1.1 室温設定		3.0	0.60	-	-	
2.1.2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	
2.1.3 外皮性能		3.0	0.40	-	-	
2.1.4 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-	
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
2.1.6 個別制御		-	-	-	-	
2.1.7 時間外空調		-	-	-	-	
2.1.8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		3.3	0.25	-	-	3.3
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-	
3.1.1 昼光率		3.0	0.60	-	-	
3.1.2 方位別開口		-	-	-	-	
3.1.3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策		4.0	0.30	-	-	
3.2.1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
3.2.2 昼光制御	1階軒庇: 1.9m+ブラインド 3階軒庇: 0.9m+ブラインド	4.0	1.00	-	-	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-	
3.3.1 照度		3.0	1.00	-	-	
3.3.2 照度均斉度		-	-	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境		4.2	0.25	-	-	4.2
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	
4.1.1 化学汚染物質	規制対象外の材料を全体的に採用。ホルムアルデヒド以外のVO	5.0	1.00	-	-	
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.1.3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
4.2.1 換気量		3.0	0.33	-	-	
4.2.2 自然換気性能		3.0	0.33	-	-	
4.2.3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	-	-	
4.2.4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-	
4.3.1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	
4.3.2 喫煙の制御	建物全体の喫煙が確認されている	5.0	0.50	-	-	
Q-2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.5
1 機能性		3.4	0.40	-	-	3.4
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.60	-	-	
1.1.1 広さ・収納性		-	-	-	-	
1.1.2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-	
1.1.3 バリアフリー計画	ハートビル法利用円滑化基準を満たしている	4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		2.5	0.40	-	-	
1.2.1 広さ感・景観		1.0	0.50	-	-	
1.2.2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
1.2.3 内装計画	インテリアパスによる内装計画の事例検証の実施	4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.6	0.31	-	-	3.6
2.1 耐震・免震		3.8	0.48	-	-	
2.1.1 耐震性	建築基準法の25%増しの耐震性を有している	4.0	0.80	-	-	
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.33	-	-	
2.2.1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2.2.2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	内部主要間仕切りEP仕上げ	5.0	0.12	-	-	
2.2.3 配管・配線材の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2.2.4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2.3 適切な更新		-	-	-	-	
2.3.1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新		-	-	-	-	
2.3.2 配管・配線材の更新		-	-	-	-	
2.3.3 主用設備機器の更新		-	-	-	-	
2.4 信頼性		4.2	0.19	-	-	
2.4.1 空調・換気設備	換気設備の重要度に応じて系統区分, 熱源種の分散化, 二重化,	5.0	0.20	-	-	
2.4.2 給排水・衛生設備	節水型器具, 受水槽(二基), 井水の利用	5.0	0.20	-	-	
2.4.3 電気設備	無停電電源設備, 電源設備・精密機械の地下空間設置なし	4.0	0.20	-	-	
2.4.4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
2.4.5 通信・情報設備	通信手段の多様化, 精密機械の地下空間設置なし	4.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.6	0.29	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			4.0	0.31	-	-	
1 階高のゆとり		階高3.8m以上	4.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率0.12	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		3,000N/㎡以上	4.0	0.31	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース			3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	4.4
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域的な歴史的まちなみ景観の継承する外観デザイン	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			5.0	0.30	-	-	5.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		記念碑の保全、地域利用施設の設置、中庭空間	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		風を導く建物配置、緑地、空地、通路の確保、屋上の室外機置場	5.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-				3.6
LR-1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1 建物の熱負荷抑制		PAL値 30%減	5.0	0.30	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20	-	-	3.5
2.1 自然エネルギーの直接利用		井水利用(便所排水)	4.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			4.0	0.30	-	-	4.0
4 効率的運用			4.0	0.20	-	-	4.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		主要設備システムにおいて、最適体制を提案	5.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.9
1 水資源保護			3.8	0.15	-	-	3.8
1.1 節水		自動水洗、節水便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.6	0.60	-	-	
1 雨水利用システム		雨水貯留(屋外散水)	4.0	0.67	-	-	
2 雑排水利用システム			3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材			3.9	0.85	-	-	3.9
2.1 資源の再利用効率			5.0	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率		鉄骨(小型鋼)に電炉鋼を使用、高炉セメントB種を使用	5.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率		リサイクル材を使用したノンスリップ、舗装材の使用	5.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料			3.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用			3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性		OAフロア	4.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避			3.3	0.18	-	-	
1 消火剤		ハロン消火材をいっさい使用していない	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材			3.0	0.33	-	-	
3 冷媒			3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.6
1 大気汚染防止			3.0	0.15	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.15	-	-	3.0
2.1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2.2 振動			3.0	0.33	-	-	
2.3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照阻害の抑制			1.6	0.15	-	-	1.6
3.1 風害の抑制			1.0	0.70	-	-	
3.2 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制		広告塔なし、周辺環境に調和した屋外照明	4.0	0.10	-	-	4.0
5 温熱環境悪化の改善			2.0	0.30	-	-	2.0
6 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.15	-	-	3.5
6.1 雨水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
6.3 交通負荷抑制		適切な量の駐輪場と駐車場	4.0	0.25	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷		分別回収に必要なスペースを設置	4.0	0.25	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		学校	-	-	-	面積按分 総合スコア
		9418 ㎡	-	-	-	
1	建物の熱負荷抑制	5.0	-	-	-	5.0
3	設備システムの 高効率化	4.0	-	-	-	4.0
			-	-	-	
3.1	空調設備	4.0	-	-	-	-
3.2	換気設備	3.0	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	-	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	-	-	-	-	-